

備前市事務事業評価表

事務事業名	泉河川維持管理事業	コード	01-03-01-01
		担当課・係	都市整備課 管理係
		担当者	岸本豊弘
事業実施期間	昭和46年度～	電話	63-1833
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	災害に強いまちづくり	
	小項目(施策)	河川改修・砂防施設整備	

事業について	
目的 (何のために)	二級河川に設置された泉管理の樋門等の管理委託事務及び維持補修要望事務
対象 (誰・何を対象に)	地域住民
内容	樋門等の管理委託業務

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
樋門等設置箇所	18 箇所	18 箇所	
苦情件数	1 件	1 件	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	464	国庫補助金等	400	直接事業費	463	国庫補助金等	400
	人件費	4,068	受益者負担		人件費	1,468	受益者負担	
	合計	4,532	市債	4,132	合計	1,931	市債	1,531
		一般財源等				0	一般財源等	0

必要人員	0.47 人	0.16 人	
結果指標名	樋門等の設置箇所		
結果指標量	18	18	
単位	箇所	箇所	
対前年比	-	100.00%	0.00%
活動にかかるコスト	4,532,000 円	1,902,000 円	
単位当たりコスト①	251,777 円	105,667 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	樋門管理を委託し、災害等の被害の拡大を防ぐ		
成果指標名	苦情処理件数	式又は説明	樋門管理者からの苦情連絡に対応した件数
	17年度	18年度	
成果指標量	1	1	
対前年比	-	100.00%	0.00%
到達目標値	苦情ゼロ	到達目標年度	毎年

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：	妥当性評価<A~E> C
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	地域住民が安心して生活が送るために樋門の管理は必要である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大きい		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	地域住民と連絡を取りながら、できる限り地域で管理してもらえよう指導していく必要がある。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	樋門管理者から故障の連絡に対して迅速に処理した。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	補修箇所について現地確認後、費用・効果・危険度等を判断し県へ要望していく。
----------	---	---	----	---------------------------------------

目標値	結果指標量①	結果指標量②
	成果指標量	

総合評価	樋門の必要性・危険性を判断し、不用箇所の見直しを行うと共に、不具合箇所の修繕について県に要望を行っていく。	評価区分<A~E> C
------	---	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	--

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	県への樋門の修繕の要望	毎年	管理者の管理負担の軽減